

- 1. フロンティア精神 DP4
- 2. 国際性の涵養 DP5
- 3. 全人教育 DP1 DP5
- 4. 実学の重視 DP2 DP3

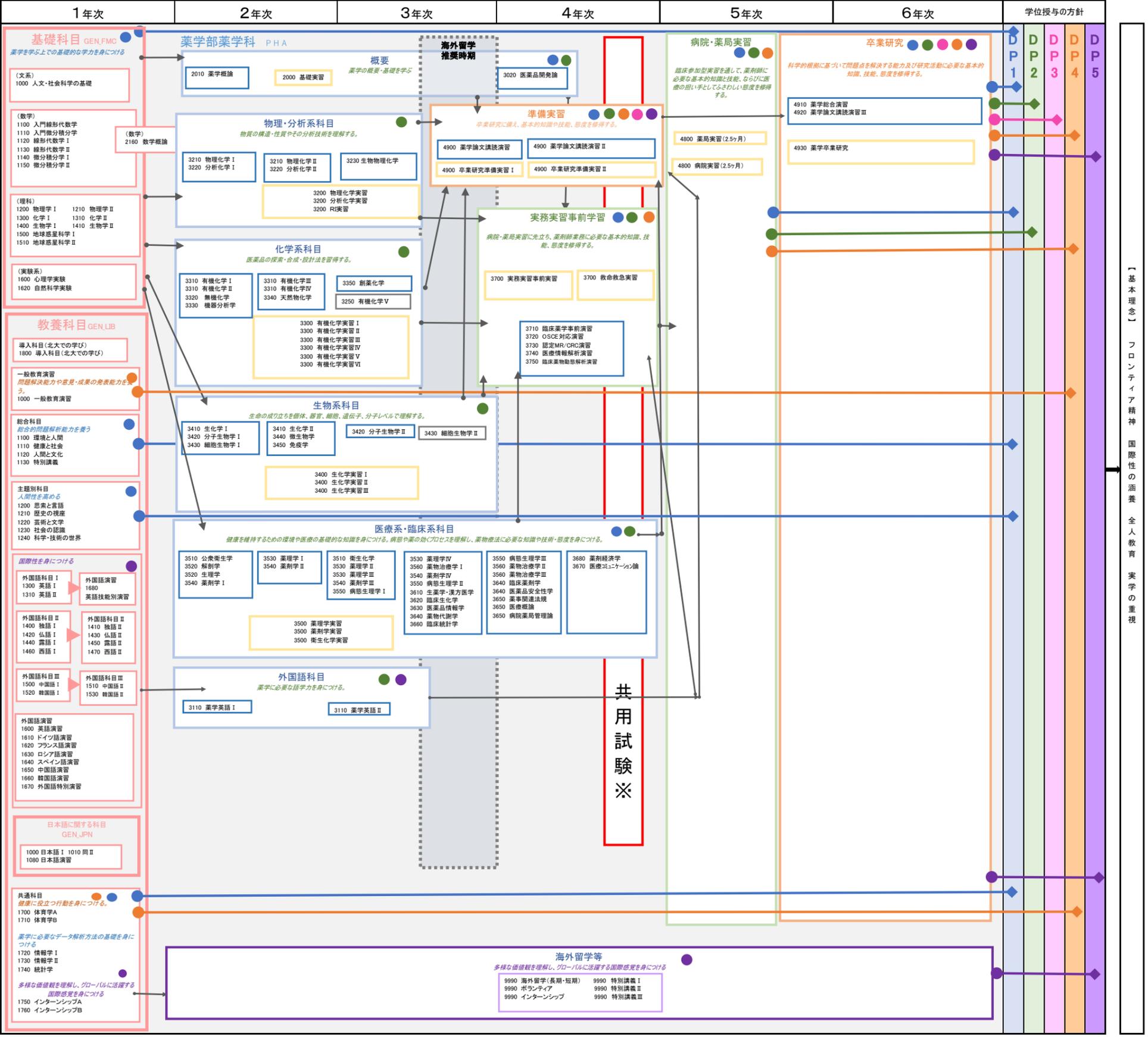
【豊かな教養と高い倫理観】
 DP1 国民の健康・福祉及び医療に関する専門的知識のみならず、広く自然や社会に関心を持つことで豊かな教養を備えるとともに、患者本位の視点から医療人として果たすべき使命と役割の理解につながる総合的判断力と高い倫理観を備えている。

【専門的な知識・技術・技能】
 DP2 薬学の基礎となる物理化学、有機化学、生物化学を系統的に習得し、さらに専門性の高い創薬科学、生命科学、医療薬学を発展的に学ぶことで、指導的な立場で活躍できる薬剤師、臨床研究者、教育者として必要な知識・理論・技能を身につけている。

【世界水準の研究】
 DP3 国民の健康・福祉及び医療における諸問題を薬学の立場から研究しその成果を医療の現場に還元するため、情報収集力、研究企画・遂行力、論理的思考力、プレゼンテーション力を修得し、世界水準の独創的・先端的な研究を遂行することができる。

【高い問題解決能力と行動力】
 DP4 医療・薬学に関する問題のみならず、自然、社会的現象、科学的事象に関する問題点を的確に見出せる能力を持ち、自ら実証的かつ多面的な視点から論理的にその本質を分析し、立案した解決策を実行できる。
 医療・薬学領域において、指導的な立場で活躍する薬剤師、臨床研究者、教育者となるため、自ら様々な事象・事実を確認・分析し、問題を解決するための対策を提案し実行できる。

【国際的な視点と自己実現】
 DP5 薬学の社会的、文化的位置づけを理解し、薬学を学ぶものとして自己の目標を設定し、自己を評価検証できる。
 医療・薬学領域のみならず、社会生活に求められるコミュニケーション能力、グローバル化に対応した国際感覚や言語力を有し、独創的・先端的な研究を国際的に発信することができる。



「基本理念」 フロンティア精神 国際性の涵養 全人教育 実学の重視

全学教育科目

- 授業・演習
- 実務実習関連
- 卒業研究
- その他の科目
- 共用試験

専門科目

- 専門科目授業及び演習 (必修)
- 専門科目のうち実習等を含む科目 (必修)
- 専門科目授業 (選択)
- 進級・卒業要件には含まない科目

※共用試験について(病院・薬局実習履修前に実施)

共用試験とは実務実習開始前に全国の薬科大学・大学薬学部の学生を対象に行われる評価試験です。共用試験はコンピューターを用いた知識・問題解決能力を評価する試験(computer based test, CBT)と態度・技術を評価する客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination, OSCE)から構成されています。CBT、OSCEとも既に公開されている「薬学教育モデル・コア・カリキュラム・教育内容ガイドライン」に準拠して行われます。